

## 病院からのお知らせ

### 研究課題名：弓部大動脈瘤に対する手術症例の検討

弓部大動脈瘤の治療においては、従来からの開胸手術である人工血管置換術に加え、近年では大動脈ステントグラフト治療が低侵襲治療として普及してきています。そのいずれの成績が優れているかについては、長期的な経過も含めた検証が必要です。

今回当院での弓部大動脈瘤に対する 2008 年から 2014 年の開胸手術 64 例、および 2007 年から 2014 年の枝付き大動脈ステントグラフト治療 76 例の計 140 例の患者様を対象として手術成績を検証し、治療の有効性について考察します。

この研究は、患者様一人ひとりにとって、より最適な治療方法を選ぶことが目的です。

データの収集は、主にカルテ情報より行います。収集するデータは、手術前の状態や手術の情報、術後の患者様の大動脈瘤に関する出来事の発生状況などです。

この研究では、患者様の個人に関する情報(氏名など)が、外部に公表されることは一切ありません。また、この研究の参加はいつでも拒否でき、それによる不利益は一切生じません。また、参加したからといって、新たに検査等を受ける必要はありません。

また研究計画書及び研究の方法に関する資料については、下記の相談窓口へ連絡いただくことにより入手・閲覧が可能です。ただし他の患者様等の個人情報及び知的財産の保護等に支障のない範囲内に限られます。

わからないこと・心配なことがありましたら、いつでも当院担当医師または相談窓口までご相談下さい。

\* \* \*

研究に関する相談窓口：

心臓血管外科の相談窓口：研究事務局

京都大学医学部附属病院 心臓血管外科教室

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町5-4

Tel：075-751-3780 Fax：075-751-3098

教授室秘書：戸谷 (toya@kuhp.kyoto-u.ac.jp)

病院の相談窓口：総務課 研究推進掛 075-751-4899 trans@kuhp.kyoto-u.ac.jp

